

Weight of Light
Photoskiagraphia
Ricca Kawai

河合里佳
光の重さ

—フォトスキアグラフィア—

2018.1.31 [水] – 2.24 [土]

nap gallery

12:00-18:30 (木曜-21:00) | 休廊=月曜・火曜・祝日(日曜は予約のみ) | 入場無料

2018.3.3 [土] – 3.9 [金]

黄金町エリアマネジメントセンター 高架下スタジオ Site-A ギャラリー

11:00-19:00 (最終日-18:00) | 会期中無休 | 入場無料

主催：公益財団法人
五島記念文化財団

協力：三菱ケミカル株式会社 | 3M・スコットセーフティ | 株式会社TRINC

五島記念文化賞 美術新人賞 研修婦国記念
美しい時代へー東急グループ

河合里佳

Weight of Light

Photoskiagraphia

媒介の透明性をめぐって

河合は、透明な描画材・支持体に光を与えることで、光と影が共存し相互作用することを表現に取り入れ、自身それをフォトスキアグラフィア (photo (光)、skia (影)、grafia (絵)) という造語で命名しています。

質量は持つが光学的に直接観測できない天文学的現象である、いわゆるダークマターの存在が示され、必ずしも視覚的に確認出来るものだけで世界が構成されていないことが判明しました。こうした成果も射程に入れつつ、不可視領域の世界をどう可視化するかが河合のテーマとなっています。2003年以來使用しているレジン (エポキシ樹脂) を、2011年に発表した自画像では、透明のレジンで水滴を表し、窓ガラスに付着する雨滴の形相を浮かび上げ、それに光をあて、レジンのレンズ効果で壁面に光と影の両方の影を落としていくという作品を発表しています。

こうした河合の表現のプロセスは、戦地に赴く恋人の影の輪郭をなぞることで絵画の誕生とした大プリニウスの「博物誌」(第35巻)を想起させます。影を描く、つまり河合の造語にもあるスキアグラフィアは、同時に影を定着させる技法=カロタイプ(写真)にも繋がります。河合が求めようとしているのは、レジンという透明性のあるメディウムによって、それでもそこから影が生じるという事態が、対象がそのまま伝えられるのではなく幾つかの要件—メディウムの厚さ、メディウムの透過性等—によって変容を来すことを示すことにあるように思われます。ここでは、事実上予見としての可視的イメージは担保されず、想定外の不可視領域からの変容したイメージの生成を経験することになります。

天野太郎 (横浜市民ギャラリーあざみ野 首席学芸員)

英国での制作を始めて、20年余りとなりました。平成7年度五島記念文化賞美術新人賞の研修をきっかけに、この地で深く学んだことは、制作に對峙する姿勢と探求精神です。オリジナルなアイデアを重視し、型にはまらない表現の自由というスピリットを得て、これまで新しい表現を生み出すことに向き合ってきました。

子供の頃より、自然から感じる目に見えない不思議な存在感や規則性に興味を抱き、作品を通してそれらを検証しています。この度の成果発表展「Weight of Light」におきましては、横浜・黄金町アートインレジデンスにて滞在制作をした最新作を発表いたします。イギリス研修中に大病し、長期間の治療とリハビリを終えるために成果発表展の時期が遅れましたが、その間に数多くの方々との出会い、貴重な経験を得ることに繋がりました。久しぶりの日本での発表にて、これまでの成果ならびに作品のさらなる進化をご鑑賞いただければ幸いです。

河合里佳

【関連事業】

パネルトーク

アートと科学を横断する芸術創作への眼差し

2018.2.17 [土] 13:00 開場 13:30 スタート
会場：3331 Arts Chiyoda 地下1階マルチスペース
参加費無料・定員40名(先着順)
お問い合わせ：http://bit.ly/2zVzRwd

登壇者 天野太郎 (横浜市民ギャラリーあざみ野首席学芸員)
岡田猛 (東京大学大学院教育学研究科・学際情報学府教授)
河合里佳 (発表アーティスト)
芹沢高志 (P3 art and environment 統括ディレクター) (五十音順)
モデレーター 高木紀久子 (東京大学)

音楽パフォーマンス

フォレスト・音の振動と形

2018.2.10 [土] 16:30
2018.2.15 [木] 19:30
会場：nap gallery
観覧無料・申し込み不要
約1時間の演奏



nap gallery

〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 3331 Arts Chiyoda 206
Tel: 03-6803-2429 | http://napgallery.jp | 東京メトロ銀座線「末広町駅」から徒歩1分



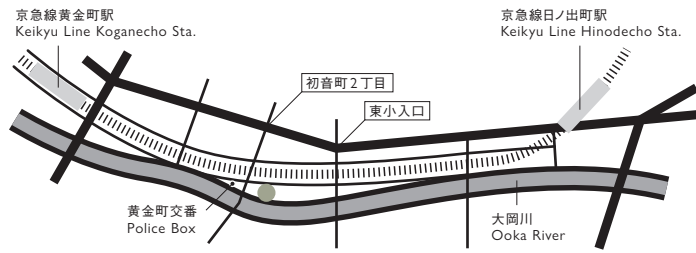
河合里佳 Ricca Kawai

1984年武蔵野美術大学造形学部卒業後、1987年に渡英、セントラルセントマーチンズ・スクール・オブ・アーツにて学ぶ。平成7年度五島記念文化賞新人賞を受賞し、イギリスにて研修。

近年の主な活動として「Into the void」(2011年、ゲートギャラリー、スプリット、クロアチア)、「Residue」(2013年、ギャラリー 286、ロンドン)、「No man ever paint same river twice」(2015年、フィッツロピアギャラリー、ロンドン)にて個展開催。「Whites」(2015年、ミュージズギャラリー、ロンドン)、「Intention and Flux」(2016年、フィッツロピアギャラリー、ロンドン)にてグループ展参加。創立150周年記念作品制作(2014年、ペガ・シリア社、スペイン)など。ロンドン在住。

〈五島記念文化財団と五島記念文化賞〉

五島記念文化財団は、豊かな生活環境の創造に力を尽くした、故・五島昇東急グループ代表の事績を記念して、1990年に設立されました。芸術文化の分野における優秀な新人の顕彰・助成を通じて、文化的な豊かな社会の実現に貢献することを目的としております。本展は、研修終了後の成果発表として助成を受けています。



高架下スタジオ Site-A ガラリー

〒231-0054 神奈川県横浜市中区黄金町1-6番地先
Tel: 045-261-5467 | http://koganecho.net | 京急線「日ノ出町駅」または「黄金町駅」から徒歩5分